



Value Design Academy

次世代VEr.育成プラットフォーム
バリューデザインアカデミー

説明会

VE+ **α** の
プロフェッショナルをつくる



[プロフィール]

内田佳代

株式会社ETERNAL SMILE 取締役

- ・ 東京医科歯科大学歯学部附属歯科衛生士学校卒、歯科衛生士
- ・ 早稲田大学大学院創造理工学研究科修了 修士（経営工学）
- ・ 歯周病専門医にて研修を受けた後、一般・審美歯科勤務
- ・ フリーランスとしての活動を開始後、保健所、都立病院、一般歯科など複数のクリニックと契約。
- ・ 現在は、臨床に携わるとともに、東京医科歯科大学歯学部にて非常勤講師も務める
- ・ VEやQCを活用した、経営改善、開業やリフォーム、業務改善、スタッフ育成を行っている。
- ・ また、行政やサービス業を中心とした企業でのVEの指導実績あり
- ・ 表情筋トレーナーとしても活動中。ガムを使い「噛むこと」を意識させる、歯科衛生士ならではの表情筋エクササイズや口もとからの美を提案。全国各地で講演やセミナーを開催。ミスユニバース地方大会セミナーを担当。NHK「朝イチ」や「きれいの魔法」など美容番組や雑誌等、多数出演。
- ・ 著書に「顔の老化は咀嚼で止められる」（草思社）がある

1

日程・スケジュール

2

カリキュラム・コンテンツ

3

実施要綱



[プロフィール]

芝本 秀徳

株式会社プロセスデザインエージェント 代表取締役

- ・ 大手ITベンダーでソフトウェアエンジニア、プロジェクトマネジャーとして、自動車部品メーカー、エレクトロニクスメーカーのソフトウェア開発に携わる
- ・ その後、文教市場向けソフトウェア開発に市場機会を見出し商品開発に乗り出し、企画・開発・販売まで一貫して現場を陣頭指揮
- ・ 現在はコンサルタントとして、ソフトウェアの世界で培った問題解決力とエンジニアリングの知見を活かし、IT、金融、サービス業、小売業など、さまざまな業種の企業をクライアントとして持ち、戦略策定、実行ファシリテーション、DXプロジェクトPMO、人材開発などを行う
- ・ 『戦略型ITマネジャー』（日経BP）『プロジェクトを成功させる技術』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）など著書多数
- ・ VES（バリューエンジニアリングスペシャリスト）
- ・ PRINCE2 Certified Practitioner（英国プロジェクトマネジメント プラクティショナ）

論文

- 『機能的な研究法によるソフトウェアプロセス改善のステップと技法』
SAVE International・Asia 2013
- 『Case of Value Engineering Application and Technique in Software Development』
SAVE International 2012 Value Summit
- 『A Proposal for Improving Processes Using Process-Flow-Diagram』
SAVE International 2013 Value Summit
- 『The Approach to improve process by Functional Gap Analysis』
SAVE International 2014 Value Summit

著書



バリューデザインアカデミー設立の趣旨

VE+ α のプロフェッショナルをつくる

未来が現在の延長線上にない時代となり、

これまでメソドロジー（方法論）として活用されてきたVEは、

思考プロセスとしての役割がもとめられています。

思考プロセスとしてのVEは、

ハードウェア、ソフトウェア、サービス、ピープルビジネスなど、

あらゆる分野に入り込み、その価値を向上するポテンシャルを秘めています。

VEがその機能を発揮するには、VE+ α の知識と能力をもった人材が必要です。

組織に、社会に、世界にインパクトを創出し、よりよい明日を作り出す人材を生み出す。

それがバリューデザインアカデミーの使命です。

日程・スケジュール

01

毎月2回

平日開催

勤務時間内

年間スケジュール ※調整中

すべての講座を平日、勤務時間内におさめられるよう変更しました

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
VE講座 10:00-17:00 (6h) VE協会会議室		5/15 (水) 第1講座		7/10 (水) 第2講座		9/20 (金) 第3講座		11/14 (木) 第4講座		1/9 (木) 第5講座		
+α講座 14:00-17:00 (3h) VE協会会議室	4/10 (水) 開校式		6/19 (水) ファシリ テーション		8/21 (水) 生産管理		10/2 (火) 問題発見		12/4 (水) コミュニ ケーション		調整中 データ サイエンス	3/5 (水) アカウン ティング
オープン コンサル 15:00-17:00 (2h) オンライン	4/23 (火)	5/28 (火)	6/25 (火)	7/23 (火)	8/27 (火)	9/24 (火)	10/22 (火)	11/26 (火)	12/17 (火)	1/21 (火)	2/19 (水)	3/26 (水) 修了式
特別 講座 VE協会会議室						CVS試験 対策講座 (調整中)				論文 対策講座 (調整中)		

※講座はすべてオンラインでの参加可

※スケジュールは調整中のため変更になることがあります

カリキュラム・コンテンツ

VEカリキュラム

[プロフィール]

澤口 学

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 教授
東北大学大学院工学研究科 客員教授
日本VE協会参与、CVS-Life

- ・ NPO法人日本TRIZ協会副理事長
- ・ 長年、製造企業のR&D・設計部門を対象に実践的な次世代事業戦略、価値創造設計の方法論を開発。
- ・ 専門はVE、TRIZ、イノベーション・マネジメントなど。
- ・ 著書
『はじめての企画・開発メソッド ～0Look VE/1st Look VE～』（同友館）
『不利益の実装 — バリュー・エンジニアリングにおける新しい価値』（近代科学社Digital）
『日本式モノづくり工学入門 ～イノベーション創造型VE/TRIZ』（同友館）など。



VE カリキュラム

<p>第1講座</p> <p>VE基本 製造段階のVE (2nd Look VE)</p> <p>VEの概論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VEの必要性、VEの発展経緯VEの定義 (2) VEの定義 (3) VEと情報 <p>VE実施手順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 機能定義 (2) 機能定義 演習 (3) 機能評価 (4) 機能評価 演習 (5) 代替案作成 (6) 代替案作成 演習 <p>まとめ</p>	<p>第2講座</p> <p>開発段階のVE (1st Look VE)</p> <p>開発段階のVEの概論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VEPとデザイン思考 (2) 開発VEの必要性 <p>VE実施手順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画要求機能分析 (2) 企画要求機能分析 演習 (3) 開発基本構想の創造 (4) 開発基本構想 演習 (5) 開発基本構想の評価・決定 (6) 開発基本構想の評価・決定 演習 <p>まとめ</p>	<p>第3講座</p> <p>VEに必要なコストマネジメント</p> <p>コストマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 合理的なコストマネジメント 原価低減、原価管理、原価企画 (2) コストマネジメント 演習 (3) コストマネジメントに必須の原価知識 (4) 原価知識 理解度テスト <p>VEと投資分析</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 投資分析の基礎手法 (2) 投資分析 演習 (3) VEの経済面での効果測定 (4) 経済効果測定 演習 <p>まとめ</p>	<p>第4講座</p> <p>創造性思考訓練 (CTC)</p> <p>創造的思考法</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VE活動で不可欠な創造的活動 (2) 創造的思考法 (3) 創造的思考法 演習 (4) 各個人の創造性について (5) 創造性に関する簡易診断 <p>主な創造手法</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) シネティクス法 ～アナロジー思考～ (2) シネティクス法 演習 (3) 特性列挙法 ～3つの視点(3つの特性)～ (4) 特性列挙法 演習 <p>まとめ</p>	<p>第5講座</p> <p>VEで役立つTRIZ</p> <p>TRIZ概論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) TRIZの発展経緯 (2) 主なTRIZの手法 (3) 技術矛盾と40の発明原理 (4) 技術矛盾と40の発明原理 演習 (5) 物理矛盾と分離の法則 (6) 物理矛盾と分離の法則 演習 <p>進化の法則</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画VEで役立つ進化の法則 (2) 演習 <p>まとめ</p>	<p>第6講座</p> <p>企画段階のVE (0 Look VE)</p> <p>企画段階のVE/VEの概論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 商品企画活動とイノベーション (2) 企画開発段階のVE/VMの定義 <p>VE/VM実施手順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市場(機能)分析 (2) 市場(機能)分析 演習 (3) 開発基本構想の創造 (4) 開発基本構想 演習 (5) 開発基本構想の評価・決定 (6) 開発基本構想の評価・決定 演習 <p>まとめ</p>	<p>第7講座</p> <p>ベンチマーク& テアダウン</p> <p>ベンチマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ベンチマークの考え方 (2) ベンチマーク 事例 (3) ベンチマーク 演習 (4) 企業活動の効率化とベンチマーク (5) ベンチマーク 演習 <p>テアダウン</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ベンチマークからテアダウンへ (2) VEで役立つテアダウン (3) テアダウンの主な手法 (4) テアダウンの手法 演習 <p>まとめ</p>	<p>第8講座</p> <p>機能系統図法とFAST</p> <p>機能系統図 概論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 機能分析での要の機能系統図の役割 (2) 機能系統図 演習 <p>機能系統図作成アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画段階VE: トップダウンアプローチ (2) トップダウンアプローチ 演習 (3) 製造段階VE: ボトムアップアプローチ (4) ボトムアップアプローチ 演習 <p>FAST (Functional Analysis System Technique)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) FASTの特徴 (2) FAST 演習 <p>まとめ</p>	<p>第9講座</p> <p>主な意思決定技法 ゲーム理論&一対比較理論とAHP</p> <p>VEとゲーム理論</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VE活動と意思決定 (2) ゲーム理論の基礎 (3) ゲーム理論 演習 <p>主な意思決定技法</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 主な一対比較の思考法 (2) 一対比較法 演習 (3) AHPの考え方 (4) VE活動で役立つAHP (5) AHP 演習 <p>まとめ</p>	<p>第10講座</p> <p>VEファシリテーション <small>※バリューデザインスクール内講座 (3日間)</small></p> <p>VE活動におけるファシリテーション技術 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 機能定義におけるファシリテーション技術 (2) 機能定義に関する個人演習 (3) 創造性に関するチェック (4) 創造性思考力に関する個人演習 <p>VE活動におけるファシリテーション技術 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 意思決定におけるファシリテーション技術 (2) 意思決定に関する個人およびグループ演習 (3) 交渉理論に関する個人およびグループ演習 (4) コミュニケーションスキルに関する演習 <p>課題レポート&レビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 課題レポートへのコメントとまとめ 	<p>第11講座</p> <p>VE総合管理 <small>※バリューデザインスクール内講座</small></p> <p>VE適用のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VE概論 (2) VE適用の対象と段階 (3) 特定対象へのVE適用マネジメント <p>VE適用における総合マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) VE適用における総合マネジメント (2) VE適用マネジメント上の問題への対応 (3) 組織におけるVE活用と成果の創出 (4) VE実施プロセスの演習 <p>まとめ</p>
---	---	--	---	--	--	--	---	--	--	---

	第1講座	第2講座	第3講座	第4講座	第5講座	第6講座	第7講座	第8講座	第9講座	第10講座	第11講座	実践活動
1年目	VEの基本 (1日・6時間)	開発段階のVE (1日・6時間)	コストマネジメント (1日・6時間)	創造性思考訓練 (1日・6時間)	TRIZ (1日・6時間)							実践レポート
2年目						企画段階のVE (1日・6時間)	ベンチマーク・テアダウン (1日・6時間)	機能系統図・FAST (1日・6時間)	意思決定技法 (1日・6時間)	ファシリテーション (3日間・18時間)	VE総合管理 (1日・6時間)	実践レポート ワークショップ

VEで成果を生み出してきた「現役」の講師陣



澤口学

CVS-Life
立命館大学大学院
テクノロジー・マネジメント研究科教授
バリューデザインアカデミー監修



松澤郁夫

CVS
日本VE協会
バリューソリューションセンター
VE活用支援アドバイザー



伊藤学

CVS
東京ガス株式会社
資材部調達企画グループ
VE推進事務局

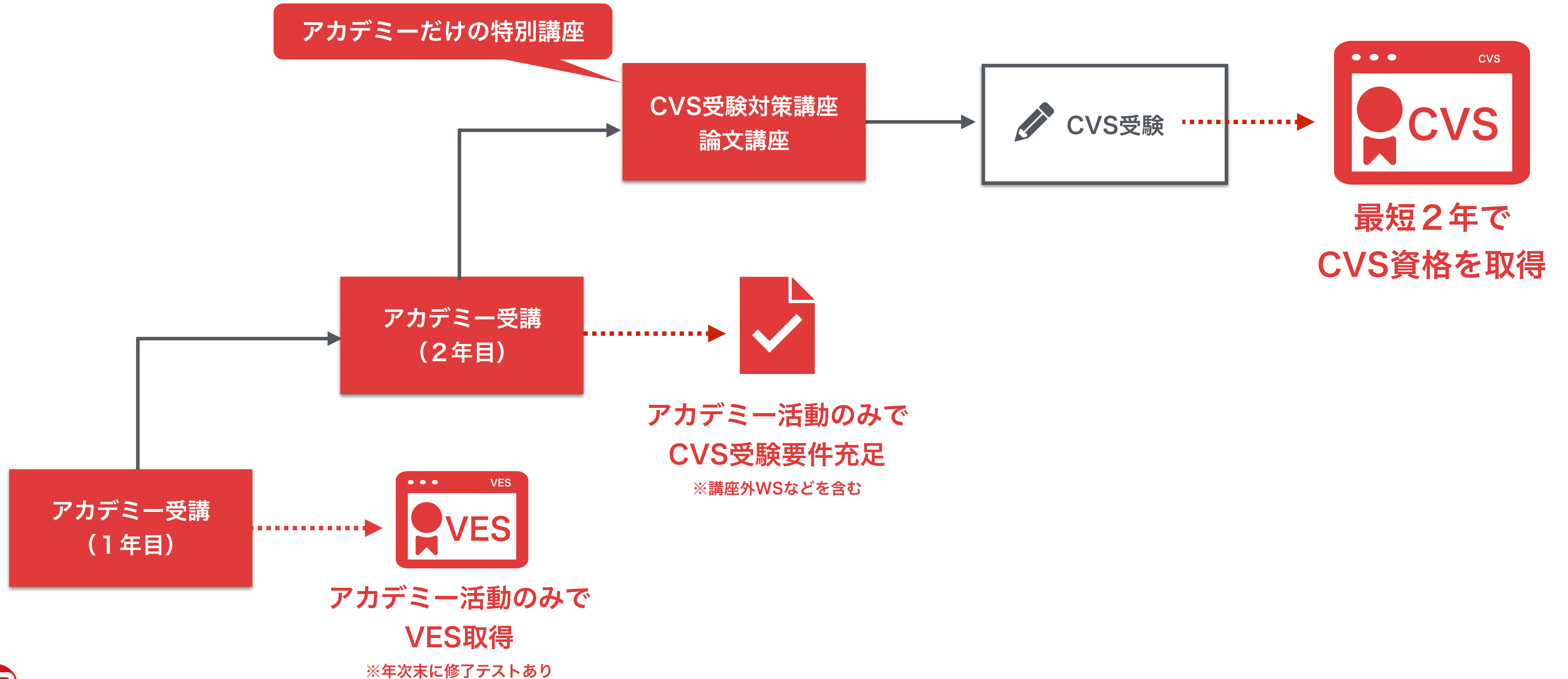


内田佳代

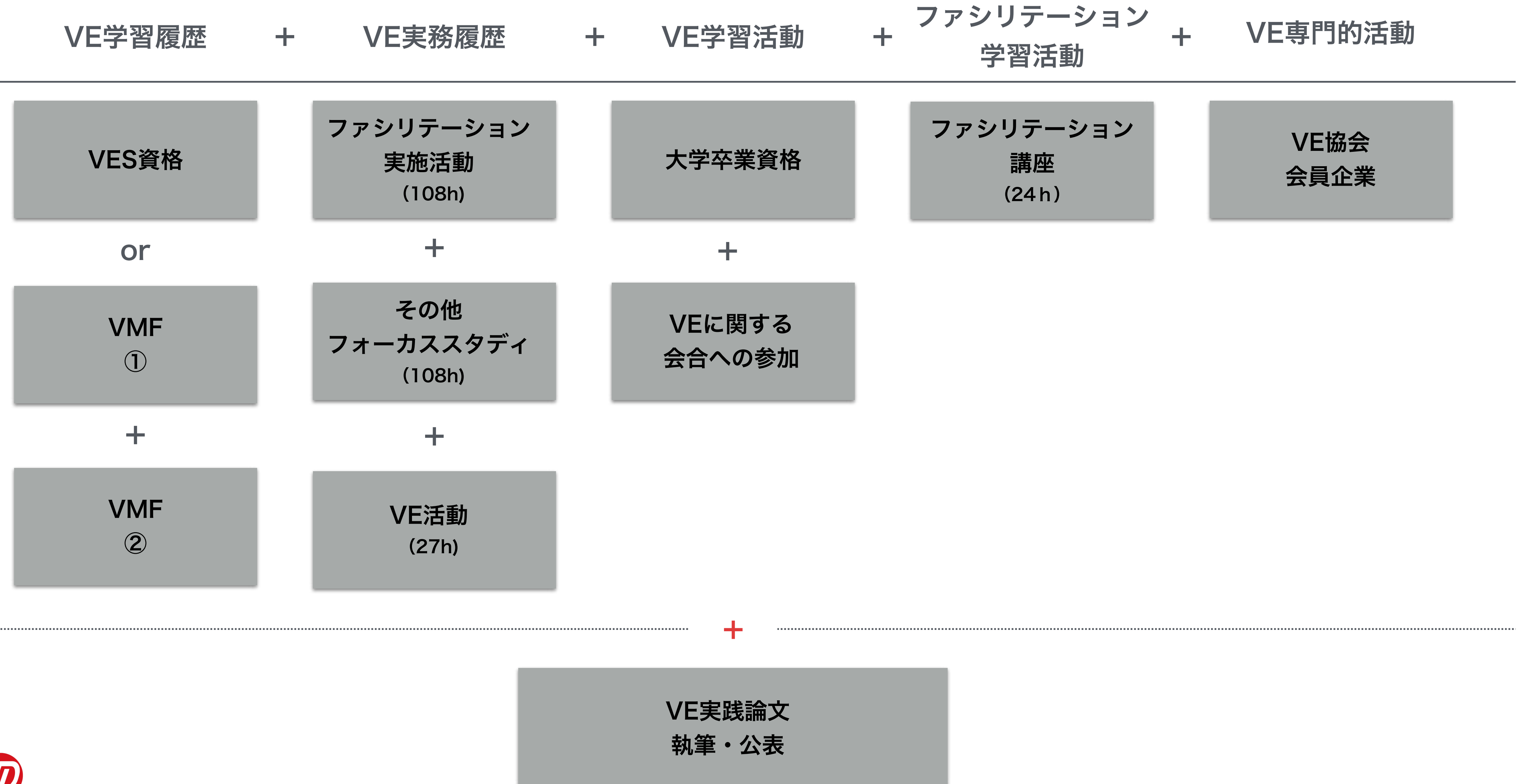
VES
株式会社ETERNAL SMILE取締役

1年でVES、2年でCVS

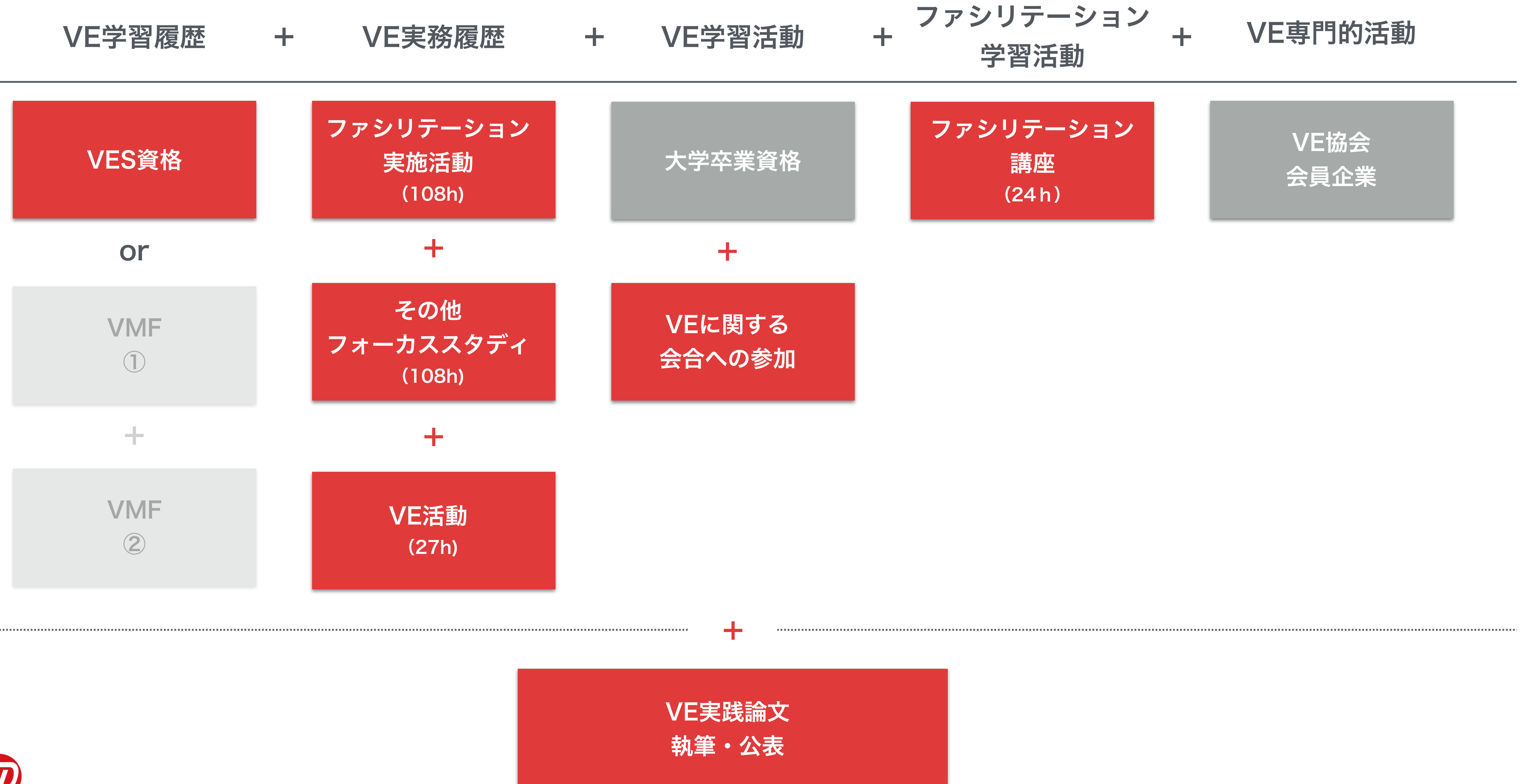
VES・CVSへの最短距離



CVS受験要件



CVS受験要件



+ α 講座

+α カリキュラム

第1講座

開校式 コンサルタントのコンピテンシー

講師：澤口学/芝本秀徳

バリューデザインアカデミーは「VE+α」の問題解決力をもったプロのコンサルタントを育成する機関である。ここでいうコンサルタントとは独立、社内を問わない。必要なのはすべての問題解決シーンに共通して求められるプロとしての「コンピテンシー」である。

開校式にともなう講座では、このプロとしての「コンピテンシー」とは何か、それを養うためにはどのような姿勢と取り組みが必要なのかについて学ぶ

第2講座

管理技術の本質

講師：

QC、IE、そしてVEは、3大管理技術といわれ、日本が経済大国となる大きな原動力となった。しかし、これらの管理技術はいわゆる「ものづくり」の世界で普及したものの、現代経済に大きな比重を占めるソフトウェア、サービス、ピープルビジネスにはほとんど知られていないのが実情といっている。ものづくりの世界に蓄積されたこの大きな資産の活用範囲を広げ、より大きな価値の創出につなげるためには、その「本質」を理解する必要がある。コンサルタントとしての必須知識であり、顧客貢献の大きな武器となる管理技術の「本質」について学ぶ

第3講座

議論を深め、思考を促す ファシリテーション

講師：芝本秀徳

現代のコンサルタントに求められているのは、課された問題に対して自ら解決策を生み出すことだけではない。それよりも組織、チームで議論し、解決策の立案まで導くファシリテーションが求められるシーンが多い。さらに実行シーンにおけるファシリテーションも重要である。

ファシリテーションとは単なる会議の進行ではなく、組織の議論を深め、思考を促すプロセスである。この講座ではファシリテーターの思考プロセスと技術を実践的な形で学ぶ

第4講座

具体と抽象による問題発見の技術

講師：細谷功

コンサルタントとしてもっとも重要な能力、それは「問題解決力」であることには疑問の余地はない。広義の問題解決には上流における「問題発見」と下流の「問題解決」があり、VUCAの時代においては「問題発見」こそが重要であると氏は語る。トップコンサルタントでありながら、2007年に「地頭力」ブームを巻き起こし、最近では「具体と抽象」「問題発見」をテーマとした数多くの書籍を執筆され、人材教育に携わってこられた氏に、コンサルタントとしてつづき問題解決力とその高め方について講義いただく

第5講座

心と心をつなぐ コミュニケーション技術

講師：

コンサルティングと問題解決は、ロジックとプロセスによってのみ行われるものではなく、人と人とのコミュニケーションの中でこそ生まれるものである。

しかし、得てしてコンサルティングを行なうものは、ロジックに頼りすぎて、問題解決の人間の側面を忘れてがちであることは否めない。

本講座では、問題解決を進めるにあたって必要不可欠な、クライアント、現場との心と心をつなぐためのコミュニケーションについて学ぶ

第6講座

R言語で学ぶ データサイエンス

講師：瀬下大輔

AIの時代において、その背景にあるのがデータサイエンスである。データサイエンスには何ができるのか、どのように活用できるのかは、コンサルタントとして必須の知識であろう。しかし、世の中にあるデータサイエンス、統計に関する知識は玉石混濁であり、いい加減な情報も多い。これがこの分野の学習を困難にしている大きな要因となっている。

この講座では、データサイエンスを統計用プログラミング言語であるRにつかかって学習し、正確な知識を獲得し、実践への橋渡しをおこなう

第7講座

経営者視点を手に入れる マネジメントアカウンティング

講師：吉澤大

経営者は日々、数字と戦っている。数字がわからなくて経営はできない。経営者の伴走者たるコンサルタントも数字を使う能力がなければ話にならない。ここでいう数字をつかう力とは、単に決算書を読む力ではない。数字で問題を把握し、数字で解決策を立案し、売上・利益という数字（結果）を生み出す力が求められる。本講座では、数多くの経営者に「ファイナンスの用心棒」として長年伴走し、結果を生み出してきた数字のプロフェッショナルに「コンサルタントが持つべき数字力」を講義いただく。

第8講座

コンサルティングプロジェクトの 進め方（仮）

講師：

コンサルティングとは、単に目の前にある問題に対する解決策を示すものではなく、多くの場合、組織的な取り組みが必要となる。テーマ設定、チームの編成、組織、現場の巻き込みなど、コンサルティングの前段から実施段階、そしてコンサルティングのフォローアップまでの一連の活動を含んだプロジェクトである。

本講座では、コンサルティングプロジェクトを進める段取りと、そのプロセスにおける留意点、必要とされるスキル、知識について学ぶ。

第9講座

SNS時代の デジタルマーケティング（仮）

講師：

コンサルタントの職業としてのむずかしさは、自ら営業することがむずかしいことである。「仕事をください」というコンサルタントに仕事を頼もうとは誰も思わないからだ。かといって、ただ待っていても仕事をとることはできない。コンサルタントとして仕事を得るには、自分がどのような人間で、どんなスキルを持ち、クライアントにどんな貢献ができるかを知ってもらう必要がある。本講座では「自分を知ってもらう技術」であるデジタルマーケティングについて戦略と具体的な施策について学ぶ

第10講座

発信の技術（仮） プレゼンとドキュメンテーション

講師：

コンサルタントとして仕事をする上で、プレゼンテーションをするシーンは数多くある。このとき、プレゼンテーションのデリバリーもさることながら、その資料（スライド）の出来が説得力とクライアントの印象を大きく左右することはいうまでもない。また、内外にみずからの知見を発信する際には、読み手にわかりやすく、かつ説得力のある文章力は必須である。

本講座ではプレゼンテーション、スライド作成、文章力を「発信の技術」として学ぶ

第11講座

組織を駆動する プロジェクトマネジメント（仮）

講師：

現代のコンサルタントの仕事は、クライアントから示されたテーマ、問題に対して解決策を提案して終わりではなく、その実行シーンにも寄り添うことが求められることが多い。これらは「プロジェクト」として実行される。しかし、日本企業はプロジェクト形態の仕事の進め方に慣れておらず、せつかくの提案が実行の途中で頓挫することもめずらしいことではない。

本講座では、組織をプロジェクトで駆動するためのプロジェクトマネジメントの技術について学ぶ

第12講座

抵抗勢力に対処する チェンジマネジメント（仮）

講師：

問題解決とそれを実行するプロジェクトは、ある意味において「過去の否定」となる。そこに抵抗勢力が生まれることは当然のことといえる。

企業の今日の成果を生み出しながら、明日の未来をつくる「両利きの経営」を可能にするには、抵抗勢力に対処しながら、いかに変革を成し遂げるかにかかっている。

本講座では、組織の変革を達成するためのプロセスとそこで必要とされるリーダーシップについて学ぶ

	第1講座	第2講座	第3講座	第4講座	第5講座	第6講座	第7講座	第8講座	第9講座	第10講座	第11講座	実践活動
1年目	コンサルタントのコンピテンシー	管理技術の本質	ファシリテーション	問題発見の技術	コミュニケーション	データサイエンス	マネジメントアカウンティング					
2年目								コンサルティングプロジェクトの進め方	デジタルマーケティング	発信の技術	プロジェクトマネジメント	チェンジマネジメント



5000回を超えるファシリテーション経験をもつコンサルタント

芝本 秀徳

バリューデザインアカデミー アカデミー長

- ・ 大手ITベンダーでソフトウェアエンジニア、プロジェクトマネジャーとして、自動車部品メーカー、エレクトロニクスメーカーのソフトウェア開発に携わる
- ・ 現在はコンサルタントとして、IT、金融、サービス業、小売業など、さまざまな業種の企業をクライアントとして持ち、戦略策定、実行ファシリテーション、DXプロジェクトPMO、人材開発などを行う
- ・ 『戦略型ITマネジャー』（日経BP）『プロジェクトを成功させる技術』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）など著書多数。
- ・ VES（バリューエンジニアリングスペシャリスト）
- ・ PRINCE2 Certified Practitioner（英国プロジェクトマネジメント プラクティショナ）

現代のコンサルタントに求められているのは、課された問題に対して自ら解決策を生み出すことだけではない。それよりも組織、チームで議論し、解決策の立案まで導くファシリテーションが求められるシーンが多い。さらに実行シーンにおけるファシリテーションも重要である。

ファシリテーションとは単なる会議の進行ではなく、組織の議論を深め、思考を促すプロセスである。この講座ではファシリテーターの思考プロセスと技術を実践的な形で学ぶ

地頭力と「具体と抽象」思考の第一人者

細谷 功

著述家、ビジネスコンサルタント

- ・ 神奈川県生まれ。東芝を経てビジネスコンサルティングの世界へ。アーンスト&ヤング、キャップジェミニ、クニエなどの外資系/日経のコンサルティング会社を経て独立
- ・ 問題解決・発見や思考に関する講演やセミナーを企業や各種団体、大学に対して行っている
- ・ 著書に、「地頭力」ブームを巻き起こした『地頭力を鍛える』、『アナロジー思考』（以上、東洋経済新報社）、『メタ思考トレーニング』『具体?抽象トレーニング』（以上、PHPビジネス新書）、『具体と抽象』『「無理」の構造』『自己矛盾劇場』（以上、dZERO）など多数

コンサルタントとしてもっとも重要な能力、それは「問題解決力」であることには疑問の余地はない。広義の問題解決には上流における「問題発見」と下流の「問題解決」があり、VUCAの時代においては「問題発見」こそが重要であると氏は語る。

トップコンサルタントでありながら、2007年に「地頭力」ブームを巻き起こし、最近では「具体と抽象」「問題発見」をテーマとした数多くの書籍を執筆され、人材教育に携わってこられた氏に、コンサルタントとしてもつべき問題解決力とその高め方について講義いただく



数学教育とデータサイエンスのプロフェッショナル

瀬下大輔

株式会社すうがくぶんか 代表

- ・ 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻 教育内容開発コース(数学教育) 修士課程修了、教育学修士
- ・ 名古屋大学大学院生物機能開発利用研究センター特任講師 (統計学と機械学習、2019年)、明星大学理工学部データサイエンス学環 講師着任予定、ZEN大学 (仮・設置認可申請中) 講師着任予定、Web解析士協会「Web解析と統計講座」講師
- ・ データサイエンティストとして不動産業界、医療機器業界など、企業との共同研究に数多く携わり、マーケティング分野においてもメディアミックス (MMM) の分析モデルの構築など、数多くのプロジェクトに携わる

AIの時代において、その背景にあるのがデータサイエンスである。データサイエンスには何ができるのか、どのように活用できるのかは、コンサルタントとして必須の知識であろう。しかし、世の中にあるデータサイエンス、統計に関する知識は玉石混淆であり、いい加減な情報も多い。これがこの分野の学習を困難にしている大きな要因となっている。

この講座では、データサイエンスを統計用プログラミング言語であるRをつかって学習し、正確な知識を獲得し、実践への橋渡しをおこなう





経営者が抱える難問に取り組む「ファイナンスの用心棒」

吉澤大

吉澤税務会計事務所代表、株式会社トータル・マネジメント・コンサルティング代表取締役

- ・ 明治大学商学部卒業。國學院大學大学院経済学研究科博士前期課程修了
- ・ 國學院大學公開講座講師、本郷公認会計士事務所（現 辻・本郷税理士法人）勤務を経て、1994年、当時26歳で吉澤税務会計事務所開設
- ・ 「潰れない会社づくりに寄与する」ことをミッションとし、税務・資金調達という自身の専門分野で経営者が抱える種々の難問に取り組む「ファイナンス用心棒」
- ・ 一方、「ビジネスパーソンにとって成長を促進する本当に役立つ会計的視点とは何か」を探究し続け、その成果をセミナーや書籍を通じてフィードバックしている
- ・ 著書に「会社の財務」（日経BP社）のほか、38万部突破の「マジビジPRO会社の数字に強くなる！」（ディスカヴァートゥエンティワン）、「2時間で丸わかりインボイスと消費税の基本を学ぶ」（かんき出版）など多数

経営者は日々、数字と戦っている。数字がわからなくて経営はできない。経営者の伴走者たるコンサルタントも数字を使う能力がなければ話にならない。ここでいう数字をつかう力とは、単に決算書を読む力ではない。数字で問題を把握し、数字で解決策を立案し、売上・利益という数字（結果）を生み出す力が求められる。

本講座では、数多くの経営者に「ファイナンスの用心棒」として長年伴走し、結果を生み出してきた数字のプロフェッショナルに「コンサルタントが持つべき数字力」を講義いただく。

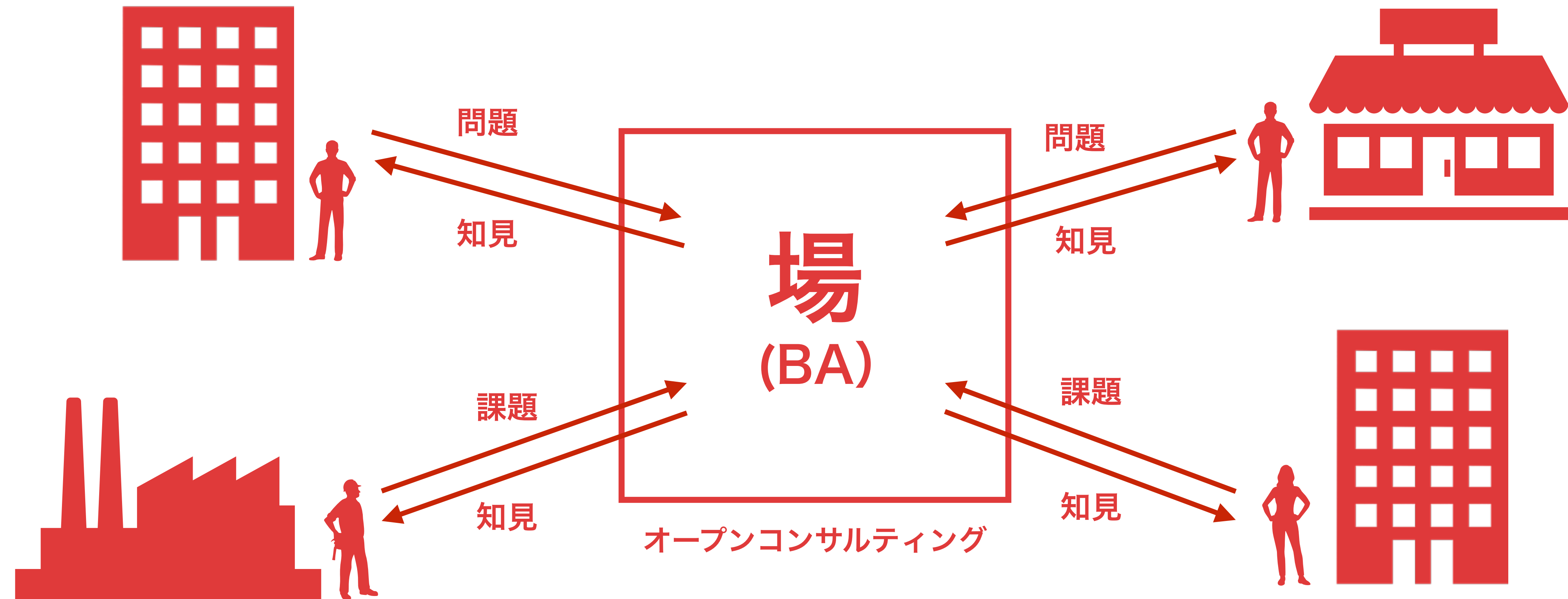
オープンコンサルティング

オープンコンサルティングとは

それぞれが現場でもっている問題を持ち寄って議論する場。

問題や構造は、業界や組織がちがっても似ている。

「リアル」なケーススタディとして議論することで問題解決力を高めることができる



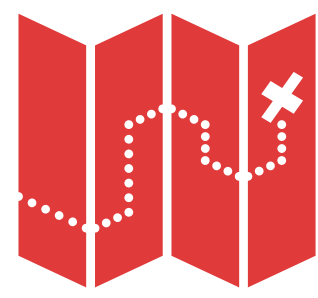
オープンコンサルティングとは

組織の壁を取り除き、場の思考を深め、議論を促進するファシリテーターの能力を養成する「見取り稽古」の場。実践の場とフィードバックを通じて、ファシリテーション能力を身につける。



関係構築

クライアントの希望、要求を理解し、ともに価値を創造する協働的な関係性を構築する



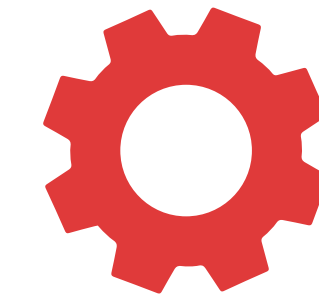
プロセス設計

成果を生み出すためのアプローチを選択し、プロセスを設計する、共有する



コミュニケーション

参加者の思い、意見を積極的に引き出し、参加者が場からベネフィットを受け取れる機会をつくる。



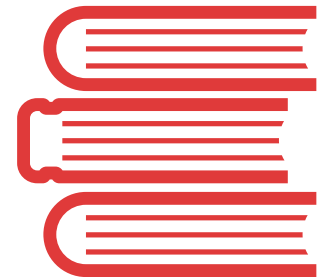
環境の整備と維持

参加者全員が場に貢献できるよう、必要は働きかけ、対処し、参加型の環境を維持する



ガイド能力

参加型の場を維持しつつ、プロセスを進行する。発言に耳を傾け、問いを投げかけ、要約と見える化を行なう



ビジネスナレッジ

対象ドメインの幅広い知識を獲得し、参加者と共通の基盤に立つ。問題解決、意思決定のプロセスを有している



ポジティブ性

場と参加者に対してポジティブな姿勢を維持し、場の模範としての態度を示す



ソリッドメンタリティ

必要な衝突を回避せず、コミュニケーションの架け橋となって勇気をもって進行する。攻撃に対しても怯まないマインドをもつ

実施要綱

03

年間スケジュール ※調整中

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
VE講座 10:00-17:00 (6h) VE協会会議室		5/15 (水) 第1講座		7/10 (水) 第2講座		9/20 (金) 第3講座		11/14 (木) 第4講座		1/9 (木) 第5講座		
+α講座 14:00-17:00 (3h) VE協会会議室	4/10 (水) 開校式		6/19 (水) ファシリ テーション		8/21 (水) 生産管理		10/2 (火) 問題発見		12/4 (水) コミュニ ケーション		調整中 データ サイエンス	3/5 (水) アカウン ティング
オープン コンサル 15:00-17:00 (2h) オンライン	4/23 (火)	5/28 (火)	6/25 (火)	7/23 (火)	8/27 (火)	9/24 (火)	10/22 (火)	11/26 (火)	12/17 (火)	1/21 (火)	2/19 (水)	3/26 (水) 修了式
特別 講座 VE協会会議室						CVS試験 対策講座 (調整中)				論文 対策講座 (調整中)		

※講座はすべてオンラインでの参加可

※スケジュールは調整中のため変更になることがあります

VE協会のバックアップ

1 修了後「認定コンサルタント」に認定

全カリキュラム（3年間）を終了したアカデミー生（審査あり）は、VE協会の「認定コンサルタント」として登録・公開されます。コンサルタントとして一歩踏み出せます。

2 VES資格認定・CVS受験要件の充当

アカデミーで学ぶことにより、1年目でVES資格を認定。2年目でCVSの受験要件が充当されます。その後、CVS試験対策講座、論文対策講座でCVS合格までサポートします。

3 専門家による論文指導

CVS受験要件でもある専門的な論文を執筆するために、押さえておくべきポイントや要領を、経験豊富な講師が**直接指導、完成までサポート**します。

4 協会主催の講座受講が無制限

各種VE大会、カンファレンス、フォーラム、講座など、VE協会主催のイベントに**追加料金なし、無制限**に参加できます。

5 協会アーカイブへのフリーアクセス

通常有料となる過去のVE論文集・事例集をはじめ、様々なVE関連資料を持つVE協会の**図書アーカイブがすべてフリー**で利用できます。

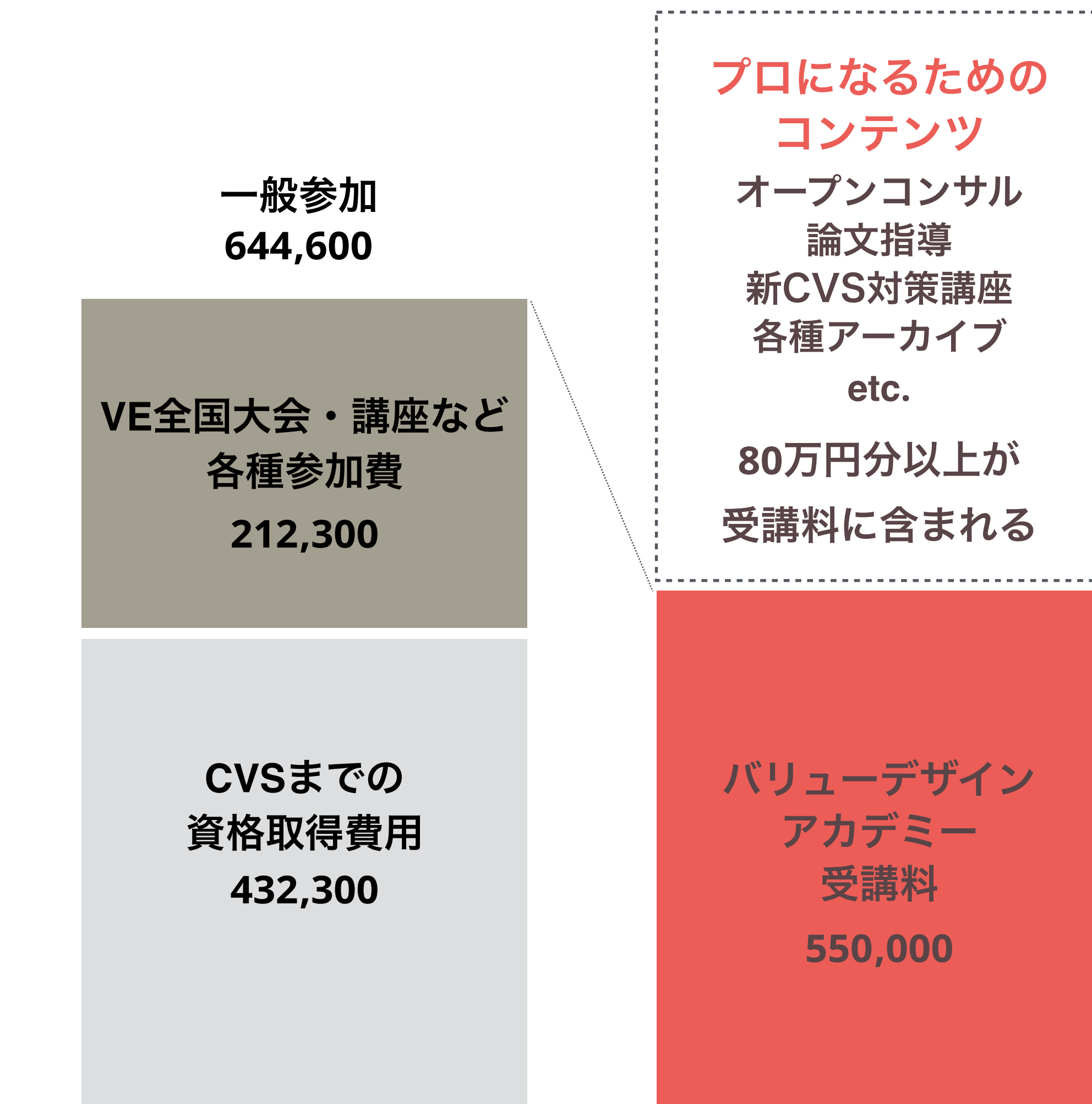


6 新CVS試験対策講座

2024年から新しくなるCVS試験の対策講座が受けられるのはアカデミー生だけ。CVS取得まで専任アドバイザーが親身に指導、サポートします。

他にはない特典 + 一般参加より大幅に低い受講料設定

	ビジネススクール	バリューデザイン アカデミー
カリキュラム内容	広範囲・一般論	問題解決力 コンサルティング力
講師	アカデミックな バックグラウンド	実務で成果を出してきた プロフェッショナル
費用	1,000,000以上/年	50 万円+税/年
講義形式・人数	数十人以上	15 人限定




初年度募集人数 **15**名限定

少人数「ゼミ」形式



少人数だから可能な
講師との距離感



少人数だから可能な
議論の密度

受講料 (年) **550,000**円 (税込) / 1名

受講料（本校生） 複数名

同一企業からの参加に「複数名割引」を設定

受講料（年） **990,000**円（税込） / 2名

受講料（現地聴講生）

本校生のお申込みいただいた企業様のみお申し込み可。1社1アカウント限定。

全講座（特別講座を除く）の聴講可。講座ごとに異なる方の聴講も可。オンラインでの参加も可。

受講料（年） **110,000**円（税込） / 1アカウント

年度毎 **5**名限定

受講料（オンライン聴講生）

本校生のお申込みいただいた企業様のみお申し込み可。

全講座（特別講座を除く）の聴講可。講座ごとに異なる方の聴講も可（ただし、お持ちのアカウント数の人数内）

受講料（年） **99,000**円（税込） / 同時視聴 1 名

受講料（年） **165,000**円（税込） / 同時視聴 2 名まで

受講料（年） **220,000**円（税込） / 同時視聴 3 名～9 名まで

受講料（年） **330,000**円（税込） / 同時視聴 10 名～30 名まで

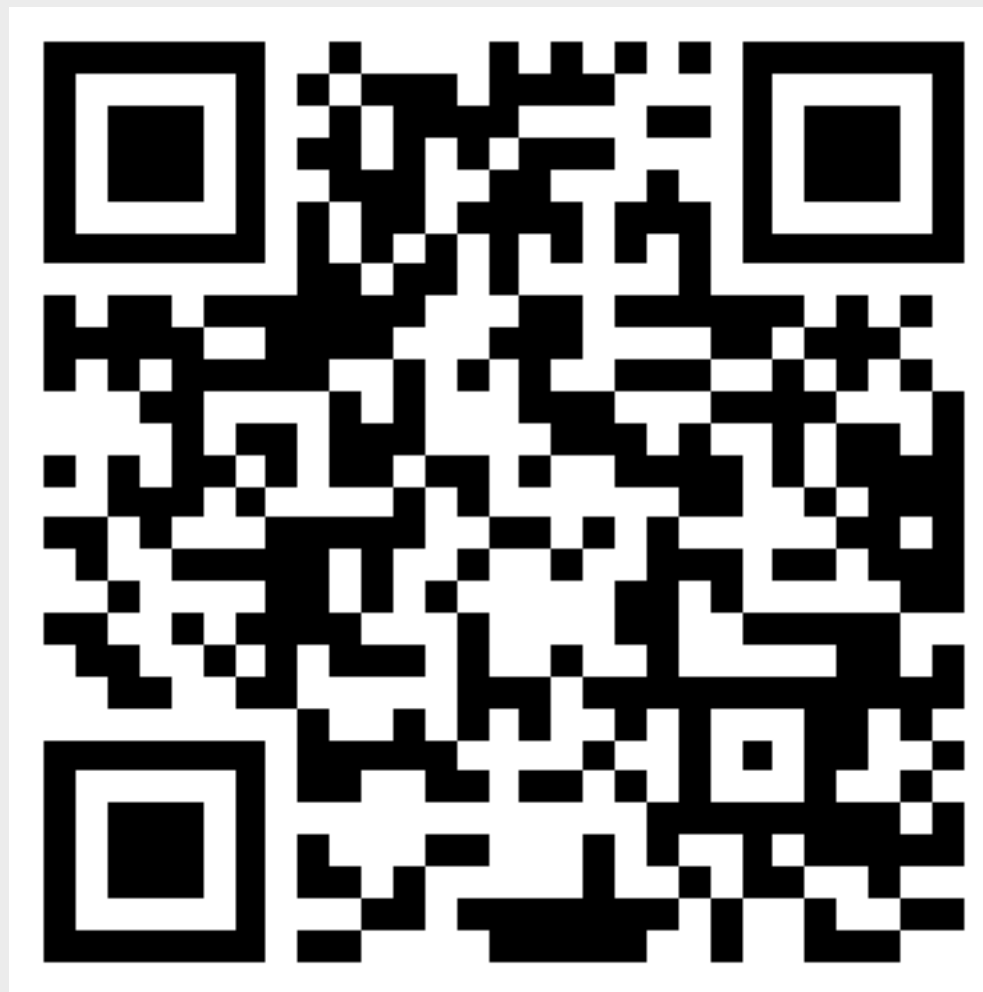
※30名以上は別途ご相談ください

参加条件

	本校生	現地聴講生	オンライン聴講生
現地参加	○	○	
オンライン参加	○	○	○ (お持ちのアカウント数を超えない人数)
オンデマンド視聴	○		
資格要件認定	○		
印刷テキスト	○	○	
電子テキスト	○	○	○
演習参加	○		
質問	○	○ (ただし、本校生優先)	

お申し込みはこちらから

受付期限 3月31日
定員に達し次第受付終了



<https://www.sjve.org/28265>